

「人に優しく、思いやりにあふれるまちにしよう」アピール

豊島区長 高野 之夫

豊島区教育委員会 教育長 三田 一則

「いじめ」のニュースを聞くたびに、心を痛めています。

本来、だれもが、思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることができるやさしさをもっています。そして、お互いに励まし合ったり、助け合ったりでき、心から信頼できる友達や仲間をもちたいと願っています。

でも、残念ですが、自分と異なる意見や立場の違う人を大切にできず、いじめをしてしまう人がいることも事実です。

もし、いじめを見たら、いじめられている人がどんなに苦しんでいるか、どんなに悲しんでいるか、どうか気付いてあげてください。

いじめられている人がいたら、見て見ぬふりをするのではなく、その人のためにできることがないか考え、手をさしのべてあげてください。そして、自分が言われたり、されたりして、嫌だと思うことは、だれに対しても行わないようにしましょう。

こうして、みんなで豊島区から、あらゆるいじめをなくし、互いに支え合い、だれにとっても「住みたいまち、学びたいまち、誇りに思えるまち」になるように努力しましょう。

いじめのない学校、思いやりにあふれたまちにするために、次の三点を学校、家庭、地域、みんなが大切にしていきましょう。

- ひとりひとり こせい みと あ おも こころ
一人一人が個性を認め合い、思いやりの心をもとう。
- りゅう つよ いし
どんな理由があっても、「いじめは、しない、させない、許さない」
強い意志をもとう。
- み み み
いじめを見たら、見て見ぬふりをするのではなく、自分たちに出来る
ことを考え、行動しよう。